

## 入会案内

当学会の目的に賛同された者であれば誰でも会員とすることができます。会員は、

- 食品衛生学雑誌(年6回発行)が配布されます。また、本雑誌への論文投稿や、学術講演会での発表が可能となります。
- 学会賞をはじめとした研究業績表彰の候補者(継続会員のみ)選考の対象となります。
- 学術講演会、シンポジウム、セミナーなどにおいて会員割引が適用されます。また、本学会が共催・協賛・後援する他団体主催の学術集会へ参加する場合にも、他団体会員と同額の参加費が適用されます。

入会ご希望の方は、入会申込書に必要事項をご記入の上、学会事務局へメール、FAXまたは郵送にて送付ください。入会申込書はホームページまたは学会事務局から入手できます。

### 日本食品衛生学会本部 所在地

〒111-0042 東京都台東区寿4丁目15-7

食品衛生センター7階

TEL: 03-5811-1502 / FAX: 03-5811-1503

- 地下鉄でお越しの場合 田原町駅2出口から徒歩約2分  
浅草駅A1出口から徒歩約4分  
蔵前駅A5出口から徒歩約5分

## ●会員区分

区分	資格	会費(年)
正会員	個人	9,600円
学生会員	個人(学生)	3,000円
シニア会員	※	4,800円
賛助会員	個人/法人/団体	27,000円/口
購読会員	法人/団体	24,000円

※満65歳以上で、かつ会員在籍年数が20年以上経過した正会員で、本人から申請があった場合のみ次年度以降から適用

正会員数: 1,074名

学生会員数: 28名

賛助会員数: 178名

購読会員数: 347名

(令和4年9月現在)



← 入会申込書はこちらから

# 日本食品衛生学会

## 学会長挨拶

第31代会長 高野伊知郎（明治薬科大学 特任教授）



本学会は、食品衛生および食品安全に関わる企業、行政、大学などに所属する会員が、食品衛生に関する研究の連絡、提携および促進を図り、これらの研究成果を普及して学術・文化の発展に寄与することを目的としています。1960年3月23日に設立され、2020年には創立60周年を迎えました。この間、多くの食品衛生にまつわるトピックスがありました。また、近年では食品流通の国際化が加速し、それに伴って食品安全確保のための考え方も新たなステージに入っています。当学会では、これまで以上に広範な視野を持って、学術講演会、シンポジウム、セミナー、学術雑誌の発行等の情報発信に努めて参ります。ご関心のある方々の入会を心よりお待ちしております。

## 本学会の目的

本学会「日本食品衛生学会」は食品衛生に関する研究の連絡、提携及び促進をはかり、あわせて研究結果の普及を行うことにより学術・文化の発展に寄与することを目的としています。

研究分野は、残留農薬・残留動物用医薬品・食品添加物・環境汚染物質・かび毒・病原微生物・遺伝子組換え食品・食物アレルギー・天然有害物質・放射性物質、異物・食品用器具・容器包装・健康食品・HACCP関連・食の安全に関するリスク評価およびリスクコミュニケーション等、多岐に渡り、行政関係（官）・大学・研究機関（学）・民間企業（民）が連携して学会活動を行っています。

## イベント

### ◆学術講演会

我が国を代表する食品衛生学分野の専門家・研究者が最新の研究成果を持ち寄って発表・討論する場を提供することを目的とし、原則として年2回（近年は年1回）開催しています。

昭和36年に開催されて以来、現在（令和5年現在）まで118回が開催されており、食品衛生学分野において権威ある学術講演会となっています。

### ◆特別シンポジウム

食品衛生分野のその時々の問題をタイムリーに取り上げ、その背景、要因、経過などに関して考察を加えて講演し、その後活発な討議を行っています。平成12年11月の第1回特別シンポジウム以来、現在（令和5年現在）まで25回が開催され、参加者から好評を得ています。

## 沿革

1960年	日本食品衛生学会設立
1961年	第1回学術講演会開催
1963年	社団法人へ移行
2000年	第1回特別シンポジウム開催
2009年	第1回公開講演会開催
2011年	公益社団法人へ移行
2020年	設立60周年

### ◆公開講演会・教育講演

より公益性の高い事業の推進を目的として、食品衛生学分野で一般の方に理解してほしい事柄を取り上げ無料で公開講演会を開催しています。平成21年に第1回を開催し以後毎年、多数のご出席をいただいています。平成30年から総会同時開催で公開シンポジウムを実施しています。

## 出版・情報・次世代研究者の育成

### ◆学会誌「食品衛生学雑誌」の刊行

学術論文および食品衛生に関する各種情報を収録した「食品衛生学雑誌」を年6回刊行しています。「食品衛生学雑誌」はWeb of Scienceにも収録されており、JCR（Journal Citation Reports）からImpact Factor（学術雑誌の影響度を表す指標）が付与されています。



### ◆学術図書の刊行

食品・食品添加物等規格基準（抄）別冊を毎年3月に発行しています。

また、本学会創立50周年を記念して「食品安全の事典」（朝倉書店）を刊行しました。食品衛生の基礎知識や情報を初心者の方にもわかりやすく解説しています。



### ◆食品衛生に関する情報の発信

2020年度より①残留農薬等の基準値、試験法、設定根拠等の情報データベースを構築、②規格基準のリーフレット作成、③リスクコミュニケーション<sup>注</sup>関連の動画・紙芝居作成等、実施しています。これら成果物に関する情報は、当学会のホームページを通して公開、随時情報提供しています。

<sup>注</sup> 厚生労働省、行政、消費者、食品事業者および食品衛生管理事業者等の関係者の間で幅広い情報や意見の交換を行うこと



リスクコミュニケーション公開セミナー（令和3年開催）

### ◆メールマガジン

2017年度より会員限定無料サービスとして毎月、「学術情報」「お知らせ掲示板」「告示・通知の改正等の規制に関する情報」「読者の声・情報共有の窓」「地方ブロック活動案内」の内容を中心にメールマガジンを配信しており、会員間での情報共有の場を設けています。

### ◆学会賞・論文賞の授与

食品衛生学の発展に関して特に優秀な研究を行った場合に学会賞、食品衛生学の分野で優れた業績をあげ貢献した場合に学術貢献賞、食品衛生学の進歩に寄与する優れた研究を行い将来の発展を期待される若手（満40歳未満）に奨励賞が、各々授与されます。また、「食品衛生学雑誌」において食品衛生研究への貢献が期待されると評価された論文には論文賞が授与されます。



第117回学術講演会受賞者（令和3年開催）

## 支部活動

2013年よりブロック制を導入し、各ブロックでブロックセミナーと称し、地方に直結した食品衛生の話題について随時シンポジウム、勉強会を開催しています。

